

平成 29 年度 磐田商工会議所経営発達支援計画 評価委員会報告

(1)日時/会場

平成 30 年 2 月 14 日（水）13：30 ～ 15：30 磐田商工会議所 2 階会議室

(2)出席者

ワンホープ・ビジネスコンサルティング 北川裕章 中小企業診断士
坂下太一会計事務所 坂下太一 税理士
磐田商工会議所 専務理事 鈴木隆之
磐田商工会議所 中小企業相談所 所長 経営指導員 廣岡智彦
磐田商工会議所 中小企業相談所 経営指導員 山本哲也
磐田商工会議所 中小企業相談所 経営指導員 小池泰介
磐田商工会議所 中小企業相談所 補助員 今泉佳代

(3)会議内容

- 1) 委嘱状交付
- 2) 委員自己紹介
- 3) 委員長選出
互選により北川裕章氏を選出
- 4) 磐田商工会議所経営発達支援事業の概要と基本的な考え方について
廣岡所長より説明
- 5) 磐田商工会議所経営発達支援事業平成 29 年度の取組結果について
廣岡所長、小池指導員より説明
- 6) 磐田商工会議所経営発達支援事業平成 30 年度事業計画(案)について
廣岡所長、小池指導員より説明
- 7) 事業評価委員からのアドバイス
下記参照
- 8) その他、意見交換

(4)各委員からの講評（要旨抜粋）

- ・モノづくりの街として、「製造業のどの分野のどの事業を重点的に支援するのか」等の方針を明確にできれば、なお良いのではないか
- ・会員接触数(巡回相談等)の割に、経営分析数が少ないと感じる
経営分析数を増やす方策を図られたい
- ・未検証、未実施がないように努力されたい

- ・受講者の認識やベクトルが一体化しているのではないか
受講者募集の仕方にも一考が必要であり、社会情勢の変化、将来予測に対する甘さがある
- ・先までの数値目標はあるが、職員の人数や陣容が変わらないとしたら、本当に実現できる計画なのか疑問を感じる
- ・職員相互間の情報交換と協力関係を強化し、「組織」として常に課題を意識しながら活動し、目に見える成果を上げられるよう期待している

(5) 評価委員からの指摘に基づく平成 30 年度の改善事項について

- ・他支援機関との連携を更に強化していくこと
とくに、ものづくり業種からの相談対応体系の強化を検討されたい
- ・経営指導員等の支援力標準化とノウハウを保つ工夫、組織間の共有化を図ること
- ・支援した事業者の効果や、研修や OJT を受けた職員の資質向上の成果についても検証していく必要がある
- ・商工会議所を知らない新規事業者の掘り起こし策を要検討
より多くの会員と接点を持ち、信頼感を醸成し会員満足度を上げ、好感度を高めていくこと